

令和6年度 授業改善推進プラン

青梅市立西中学校

教科名 **保健体育** 科

1 生徒の実態

1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none">・元気で活発に取り組む姿勢があり、楽しもうとする気持ちは高い。・基礎体力はやや弱く、集中力が低い。・技術向上のための工夫を考えたり、調べたりすることが苦手である。・集団で活動する種目や少人数で活動する種目もあるため、グループで意見を出し合ったり、話し合ったりすることができない。	<ul style="list-style-type: none">・男女共修2年目に突入し、昨年度より男女共修への抵抗はなくなったように見える。・自分の課題を見つけ、課題の解決にむけて考えることが苦手な傾向がある・自分の苦手な運動に対して、すぐに諦めてしまう傾向もある。粘り強く取り組むことができない。	<ul style="list-style-type: none">・男女の仲が良く、授業中はとても明るく取り組むことができている。・課題解決に向け、自分や友達と協力することができ、自分の考えなどを表現することが良くできる。・活動に対して、男女共に前向きに取り組む姿勢が見られる。

2 指導上の課題

1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none">・知識力を高めるための知識量をインプットする作業が必要ある。・単元ごとに調べ学習や話し合い活動の時間を十分に確保する必要がある。・表現力が苦手で、考えていることをどう伝えればよいか、多くの経験を積む必要がある。	<ul style="list-style-type: none">・積極的に言われたことに対しては取り組むが、自ら考え行動しようとすることができない。・失敗を怖がり、挑戦しない生徒が多い。・自分で課題を見つけることが苦手な傾向がある。また、解決に向けての手立てを見つけることが苦手。	<ul style="list-style-type: none">・グループなどで考えを出し合うことはできるが、1つのことに夢中になり指示が通りにくくなることがある。・周りの目を気にして、中々挑戦をする生徒が少ない。失敗を怖がる傾向がある。

3 授業改善の視点とその方策

1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none">・単元の中で、単元について調べたり、上達するための練習方法を考えたりする時間を確保する。・ゲーム等を行う時は、個々の課題を考えさせるとともに、チームの課題について話し合う場と時間を確保する。・学習カードやICT機器を活用して、自分の考えや意見を他の生徒と共有し、意見交換するツールを作成する。	<ul style="list-style-type: none">・単元によって、男女共修の利点をうまく利用し、互いに相乗効果をもたらすよう、グループ活動を用いて、教え合いを中心とする授業展開にする。・課題解決に向けてのポイントをわかりやすく提示する。また、ICT機器を使用し、意識量を増やす。・学習カードを使用し、自分の考えを表現する機会を設ける。・失敗を責めない、笑わない環境を作る。	<ul style="list-style-type: none">・単元によって、男女共修の利点をうまく利用し、互いに相乗効果をもたらすよう、グループ活動を用いて、教え合いを中心とする授業展開にする。・授業の中で、安心して失敗できる環境を作り、挑戦の機会を増やす。